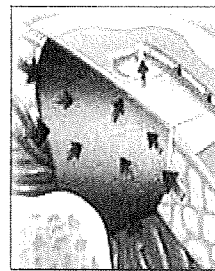


3. 陰圧閉鎖療法の適応

1. 褥瘡
2. 植皮された部位
3. 糖尿病性壊疽
4. 毛巣洞術後
5. 巨大な皮膚および皮下組織の欠損創

The VAC® (Vacuum Assisted Closure)® is a unique system that helps promote wound healing. Doctors can prescribe negative pressure wound therapy (NPWT) for many traumatic and chronic wound patients - in the hospital, extended care facility, and in the home.

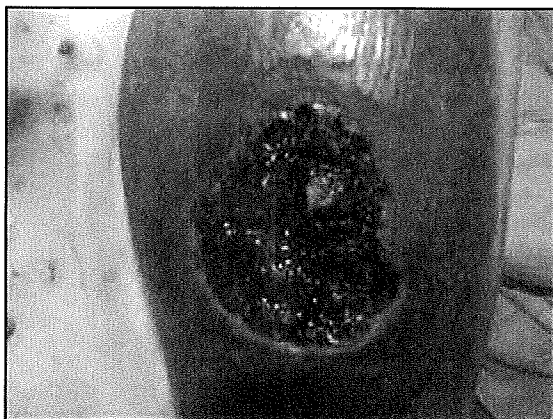


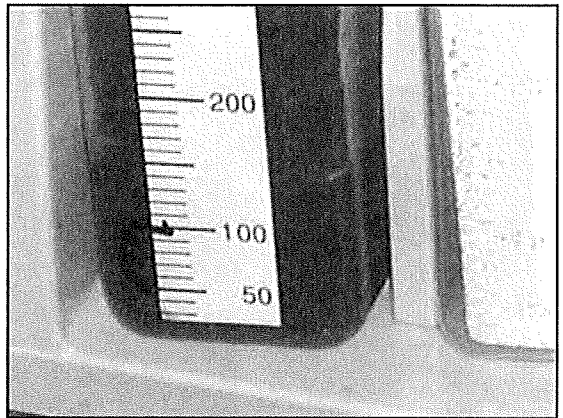
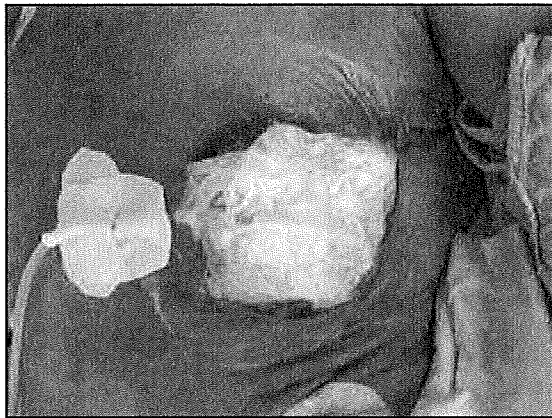
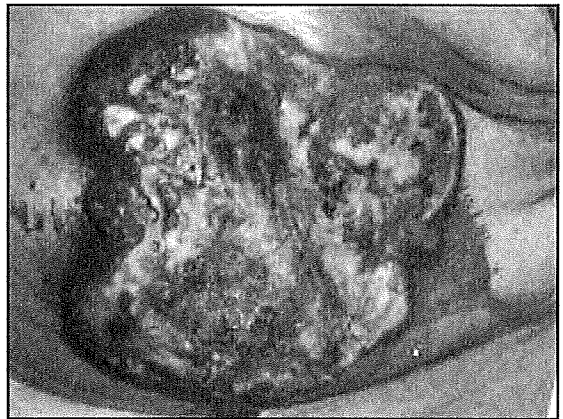
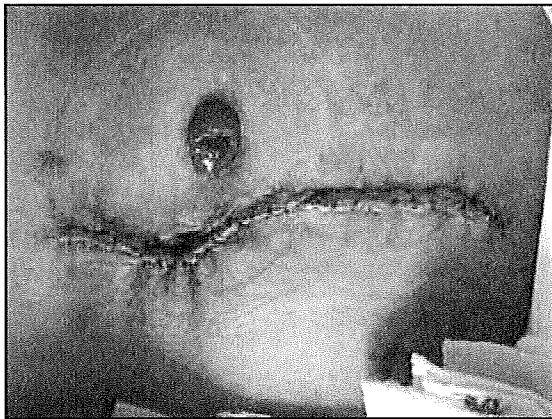
Benefits of VAC® Therapy

- Accelerates healing
- Applies controlled, localized negative pressure to help uniformly draw wounds closed
- Helps remove excess fluid and debris from the wound
- Helps remove infectious material
- Provides a closed, moist wound healing environment
- Promotes fast and pain-free healing

Indications

For the patient, indications include acute traumatic and chronic wounds, partial-thickness burns, flap and grafts.





4. 陰圧閉鎖療法の禁忌

1. 骨髄炎を合併した褥瘡
2. 著明な感染を伴う創
3. 硬い壊死組織に覆われた創
4. 太い血管や臓器が露出している場合
5. 明らかな出血が認められる場合



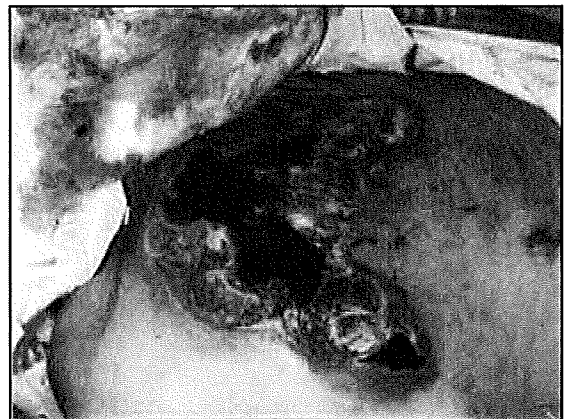
5. 陰圧閉鎖療法のメリット

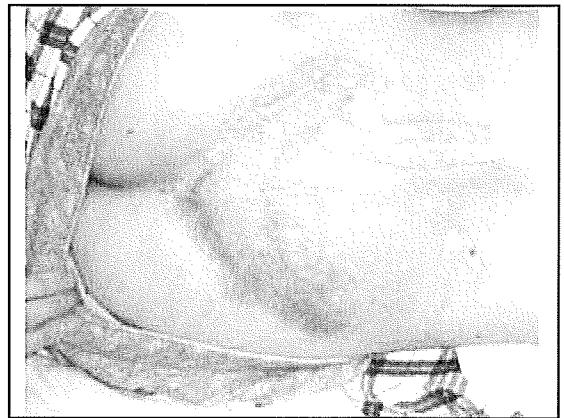
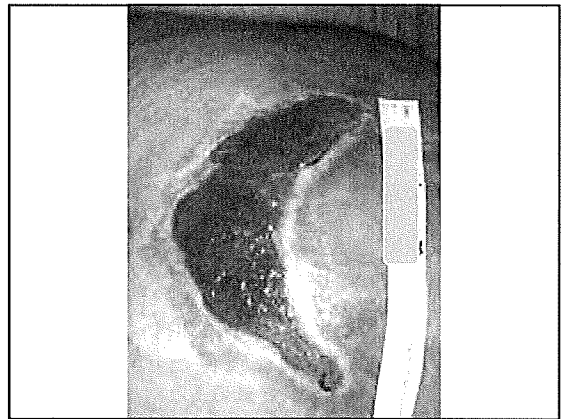
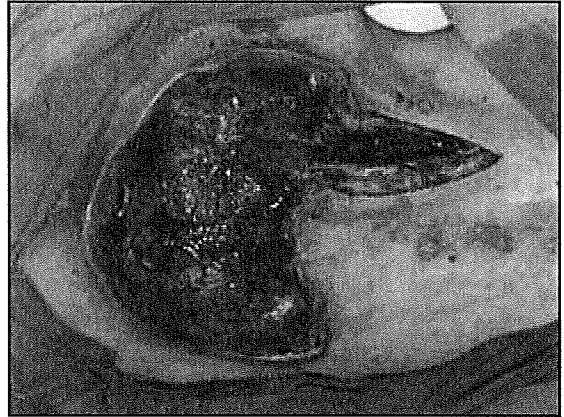
- 滲出液が常にドレナージされているので、細菌負荷をコントロールできる
- ポケット内に壊死組織がない場合は、ポケット部の接着目的で行ってもよい
- 交換回数の減少
- 二次感染の予防
- 経済性(?)

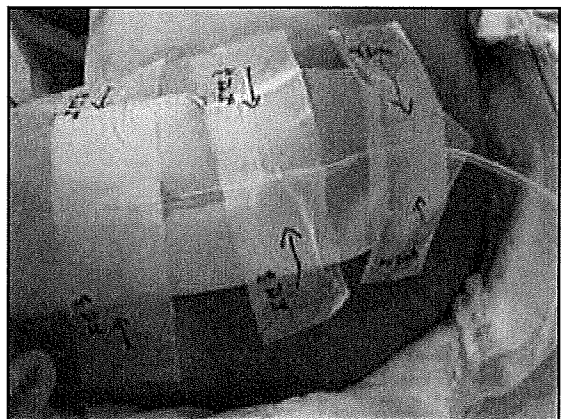
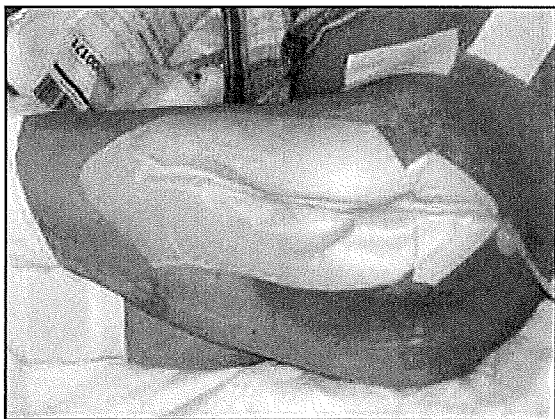
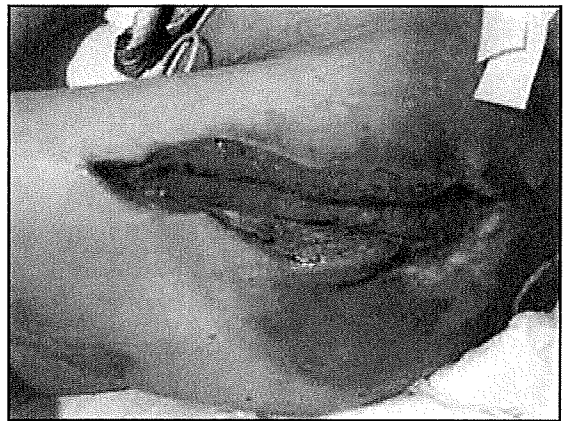
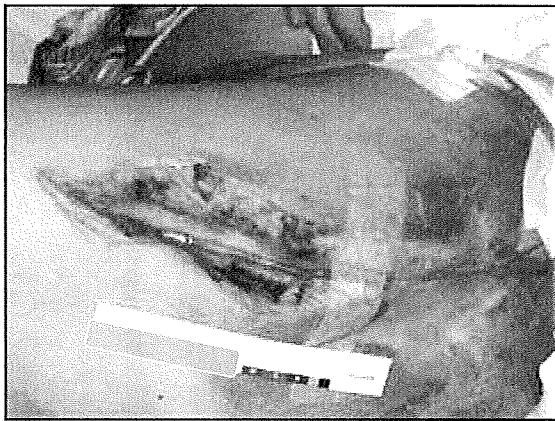
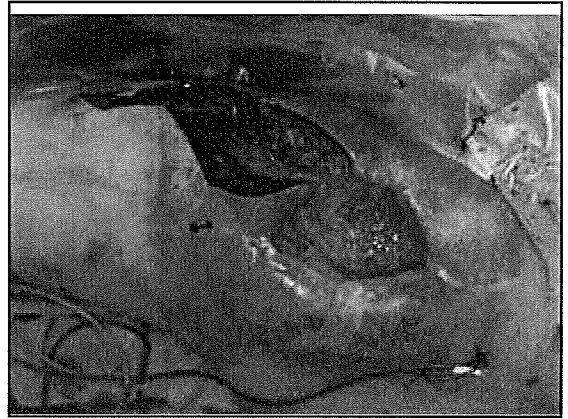
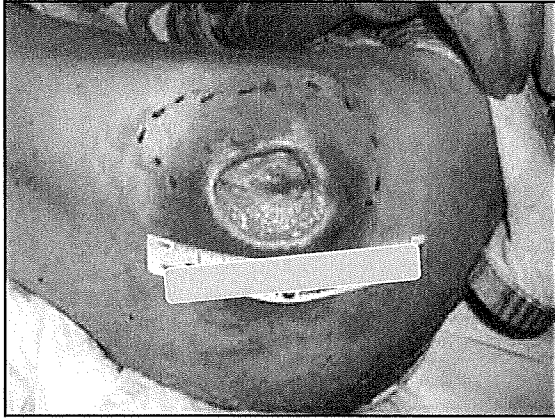


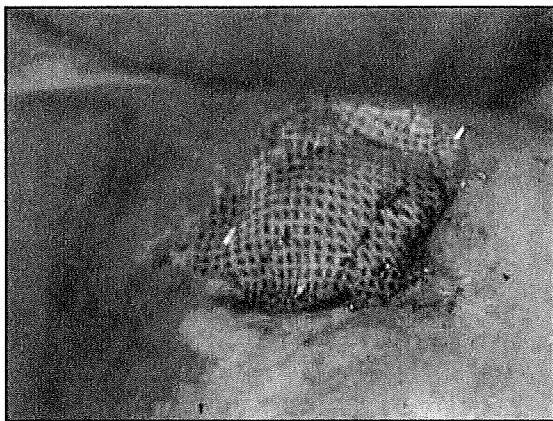
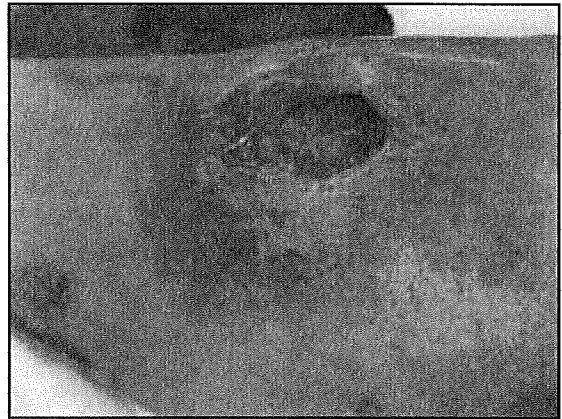
5.陰圧閉鎖療法期待される結果

- 創体積の縮小
- ポケットの縮小
- 周囲の皮膚の保護










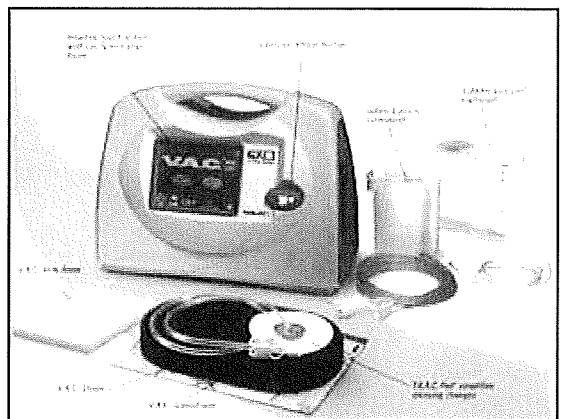
ディスカッション: 陰圧閉鎖療法を終了する時期

- 創がどのような状態になったら終了していますか？
- 中断する時はどのような時ですか？

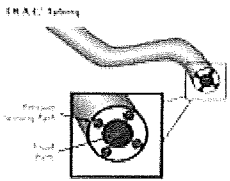


6. 機器、必要物品

- 創および創洗浄の用品
- 創面にあてるもの
- チューブ
- 陰圧にする機器
- 練状皮膚保護材
- フィルムドレッシング材
- チューブを固定する粘着テープ



TRAC Technology

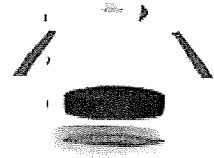


TRAC[®] technology provides accurate pressure sensing at the wound site, delivering consistent therapy.

- Provides TRAC[®] Pressure's Applied to Accurate Castable Pressure Sensors and measures target pressure
- TRAC[®] allows for Smart Alarm to be pressure-protected safety


Simple and efficient dressing applications.

1. Cut the adhesive VAC[®] film dressing away from the wound by 10% the size and shape of the wound, allowing a 10mm overlap and uniform seal.
2. Trim the edges to form the tape into a 1mm border of overlap.
3. Moisten the hole in the tape and apply the TRAC[®] fluid.



AmVAC[®] Better By Design

AmVAC[®] Therapy System
The Best Combination of VAC[®] Therapy



VAC

AmVAC[®] Therapy System

VACをやるといくらになるのか？(外保連試算)

手術の技術度 × 協力者数 × 時間 + 医療材料・機器

100 cm²未満の創傷で初回装着時

技術度:C
協力者数:医師1、看護師1
時間:1時間
医療材料・機器:VACLレンタル料 14,867円等
277,800円

交換時の処置料
6,400円

技術度のランク

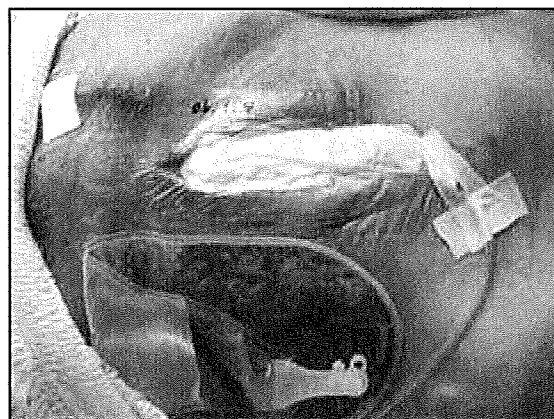
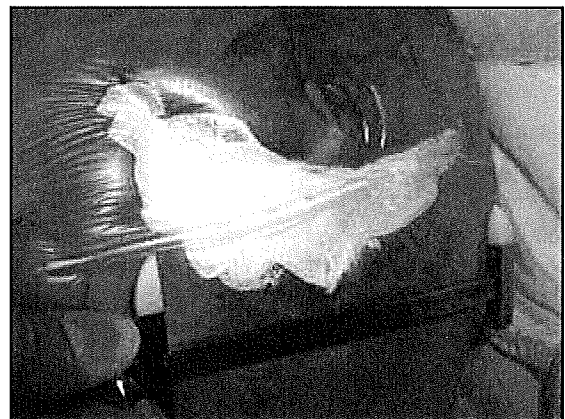
A:初期臨床研修医 (経験1年)


B:初期臨床研修医修了者 (経験5年)

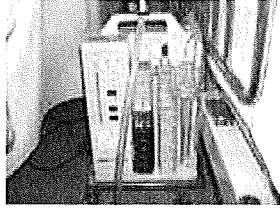
C:基本領域の専門医 (経験10年)

D:Subspecialty領域の専門医 (経験15年)

E:特殊技術を有する専門医 (経験15年)

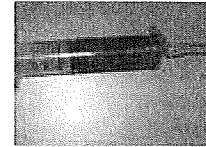


歩く患者さんには 

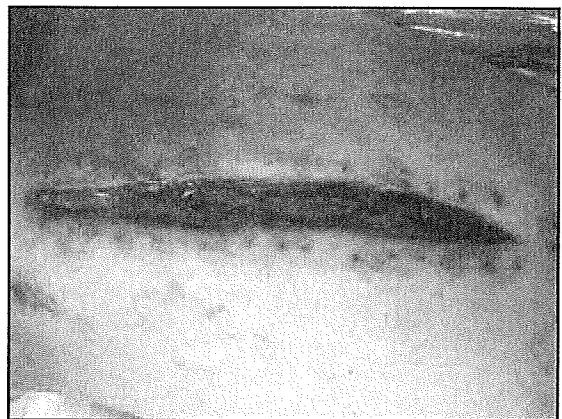
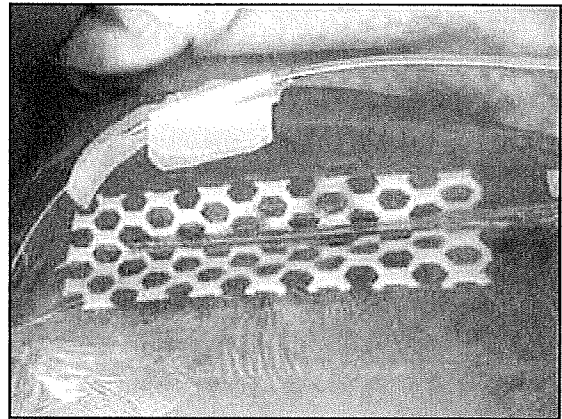


充電可能な低圧持続吸引器へ接続

歩く患者さんには

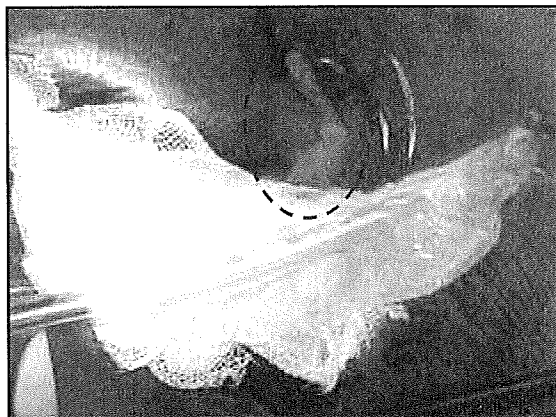


シリンジを用いた局所麻酔



7. 安全な閉鎖陰圧療法の技術

- ポケットの中にガーゼをつめない
- 創傷用以外の市販のスポンジなどをあてないこと
- ドレナージの確認
- リークを防ぐ固定方法
- スタッフ指導
 - 滲出液がもれていたらどうするか
 - リークの確認の頻度
 - リークしていたらどうするか



ディスカッション:安全に実施する際のWOC看護師の役割

- 医療行為としてどのような配慮が必要か
- 有害事象をさけるための役割
 - 有害事象にはどのようなものがあるか



- Closed suction wound drainage と どこが違うのか
- 開始時の留意点
- スタッフ教育

ご清聴ありがとうございました



厚生労働省科学研究費 H20－医療－一般－022
高度創傷管理技術講習会テキスト

2009年3月6日 発行

編集 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 老年看護学／創傷看護学分野

発行者 真田 弘美

発行 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 老年看護学／創傷看護学分野

〒113-0033

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部 5号館

TEL/FAX 03-5841-3442

- 本書に記載された著作物（記事・写真・イラスト等）の翻訳・転載・データベースの取り込み、及び送信に関する許諾管理は、東京大学医学系研究科 老年看護学／創傷看護学分野が保有します。
- 本書に掲載されたすべての記事内容は、東京大学医学系研究科 老年看護学／創傷看護学分野の許可なく転載・複写することはできません。

©2009 東京大学医学系研究科 老年看護学／創傷看護学分野



高度創傷管理教育講習会アンケート

この度は、高度創傷管理教育講習会へご参加いただき、誠にありがとうございます。今後、この教育プログラムをよりよいものへと発展させるために、ご参加されたみなさまにそれぞれの講義についてご意見をいただき、内容の充実を図ってまいりたいと考えております。何卒、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。尚、アンケートの回収につきましては回収箱を設置しておりますので、お帰りの際までにご提出いただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
老年看護学／創傷看護学分野
真田 弘美

	全く そう 思わない	少し そう 思う	ま ず ま ず そ う 思 う	か な り そ う 思 う	全 く そ の 通 り で あ る
	1	2	3	4	5
回答例 <質問> わたしは、夏が好きです。	1	②	3	4	5
3月6日（金）					
1. 超音波診断の基礎知識と操作の実際 講師：藪中 幸一（医療法人大植会 葛城病院 放射線科）					
1) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
2) 講義は、創傷管理に必要な知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5
3) 演習は、臨床での創傷看護の実践に役立つものだった。	1	2	3	4	5
2. 医師の視点から見たドレッシング材の選択 講師：長瀬 敬（東京大学大学院医学系研究科）					
4) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
5) 講義は、創傷管理に必要な知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5
3. 適切なドレッシング材の選択 講師：貝谷 敏子（東京大学大学院医学系研究科）					
6) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
7) 講義は、創傷管理に必要な知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5

	全くそう 思わない	少しそう 思う	まずまず そう思う	かなり そう思う	全くその 通りである
	1	2	3	4	5
3月7日（土）					
4. サーモグラフィの基礎知識と褥瘡への応用 講師：真田 弘美（東京大学大学院医学系研究科） 仲上 豪二郎 （東京大学大学院医学系研究科、(独)日本学術振興会 特別研究員）					
8) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
9) 講義は、創傷管理に必要な知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5
10) 演習は、臨床での創傷看護の実践に役立つものだった。	1	2	3	4	5
5. 振動器の基礎知識と褥瘡への応用 講師：須釜 淳子（金沢大学大学院医学系研究科）					
11) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
12) 講義は、創傷管理に必要な知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5
13) 演習は、臨床での創傷看護の実践に役立つものだった。	1	2	3	4	5
6. 超音波診断の褥瘡への応用 講師：青井 則之（東京大学大学院医学系研究科）					
14) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
15) 講義は、創傷管理の知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5
16) 演習は、臨床での創傷看護の実践に役立つものだった。	1	2	3	4	5
7. 皮膚・排泄ケア認定看護師のアドバンス教育の必要性と今後の展望 講師：溝上 祐子（社団法人日本看護協会 看護研修学校）					
17) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
18) 講義は、創傷管理に必要な知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5

	全く そう 思わない	少し そう 思う	まず まず そう 思う	かなり そう 思う	全く その 通り である
	1	2	3	4	5
3月8日（日）					
8. 壊死組織除去の基礎知識 — デブリドマンについて — 講師：館 正弘（東北大学大学院医学系研究科）					
19) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
20) 講義は、創傷管理に必要な知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5
9. 看護師の裁量と医療安全 — チーム医療の推進 — 講師：坂本 すが（東京医療保健大学）					
21) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
22) 講義は、創傷管理に必要な知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5
10. 安全な医療連携について グループ討議 講師：坂本 すが（東京医療保健大学）					
23) 討議は、適切に進行された。	1	2	3	4	5
24) 討議は、創傷管理に有意義な内容だった。	1	2	3	4	5
その他、ご意見や感想などがございましたら、ご自由にご記入ください。					

ご協力いただき、誠にありがとうございます。

	全くそう 思わない	少しそう 思う	まずまず そう思う	かなり そう思う	全くその 通りである
	1	2	3	4	5
5月26日 (火)					
11. デブリドマンの実際 (実習) 講師：Courtney Lyder (University of California, Los Angeles)					
25) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
26) 講義は、創傷管理に必要な知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5
27) 演習は、臨床での創傷看護の実践に役立つものだった。	1	2	3	4	5
12. 陰圧閉鎖療法 講師：館 正弘 (東北大学大学院医学系研究科) 内藤 亜由美 (東京大学大学院医学系研究科)					
28) 講義の内容は、わかりやすかった。	1	2	3	4	5
29) 講義は、創傷管理に必要な知識・技術として高度な内容だった。	1	2	3	4	5
30) 演習は、臨床での創傷看護の実践に役立つものだった	1	2	3	4	5
その他、ご意見やご感想などがございましたら、ご自由にご記入ください。					

ご協力いただき、誠にありがとうございます。

2008 年●月●日

●●病院
●殿

東京大学大学院医学系研究科
健康科学・看護学専攻
創傷看護学分野
真田 弘美

「皮膚・排泄ケア認定看護師による高度創傷管理技術を用いた
重症褥瘡発生の防止に関する研究」
調査ご協力のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

現在、「皮膚・排泄ケア認定看護師による高度創傷管理技術を用いた重症褥瘡発生の防止に関する研究」厚生労働省科学研究費補助金（H20-医療-一般-022）を行なっております。

近年注目されている症状として Deep Tissue Injury(深部組織損傷、DTI)があり、DTI を重症化させないためには、超音波診断装置(エコー)を用いて深部組織状態をアセスメントした上で早期に壊死組織のデブリードメントを十分に行い、湿潤環境を保つドレッシング療法を提供する高度な創傷管理技術が必要であります。しかし、一般的には肉眼的観察による主観的な判断で壊死組織の除去が施工されており、処置の遅れにより重症化へ移行しているのが現状であります。褥瘡の管理に主体的に関わっているのは、専門的な教育を受けた皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC 看護師)です。既に習得している専門的創傷管理技術に加えて、高度な創傷管理技術を習得すれば、アセスメントから管理までを一連のケアプロトコールとして提供することが可能となります。

本研究は、高度な専門的創傷管理技術を WOC 看護師に教育し、体系的ケアプロトコールを策定・実施することで、重症褥瘡の発生率を低下、治癒率を向上させるとともに、患者 QOL を向上し、医療コストを減少させることを目的としております。

本調査の概要は別紙の通り行う予定でおります。調査の趣旨をご理解いただき、本調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

敬具

ご協力頂きたい内容

研究テーマ：「皮膚・排泄ケア認定看護師による高度創傷管理技術を用いた重症褥瘡発生の防止に関する研究」

研究目的：高度な専門的創傷管理技術を WOC 看護師が習得し、体系的ケアプロトコルを策定・実施することで、重症褥瘡の発生率を低下させ、患者 QOL を向上し、医療コストを減少させることを目的としております。

ご協力いただきたいこと

1. 高度創傷管理技術習得のための教育プログラムを受講して頂きます。
日程：平成 21 年 3 月 6 (金)、7 (土)、8 (日) 日、5 月 26 日 (火)
場所：東京大学医学部 5 号館 老年/創傷看護学教室
プログラム内容：別紙 1-1 参照
* 受講に必要な旅費・宿泊費等はこちらで負担させていただきます。
2. プログラム受講後に高度創傷管理技術を用いてケアした患者の調査にご協力頂きます。
教育で習得した高度な専門技術を用いた看護介入を臨床で実践して頂き、その際にケアした患者の調査を行います。調査項目（別紙 1-1）は所定の用紙にご記入して頂きます。

倫理的配慮

1. 調査で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。また、研究者以外に知られないように厳重に管理いたします。
2. 関連する学会、ないし専門誌にて発表することがありますが、調査結果は個人・施設名を特定できないように処理を行います。研究終了後には全てのデータは破棄し、個人の秘密は厳守いたします。

この研究への参加・不参加によっていかなる不利益も生じることはございません。研究への協力は自由であり、同意された後でも、いつでも協力をとりやめることができます。

皆様へご負担にならないように、十分に配慮させていただきたいと考えております。

以上をご理解頂いた上で、研究へのご協力に承諾して頂ける場合は、別紙にご署名をお願いいたします。ご不明な点は下記へご連絡ください。

調査責任者： 貝谷 敏子

〒113-0033 東京都文京区本郷 7 丁目 3-1

東京大学大学院医学系研究科 創傷看護学分野

TEL/FAX:03-5841-3439

e-mail: kaitanit-tky@umin.ac.jp

調査内容

高度創傷管理教育内容

I. 高度専門科目

創傷ケア論

1. 高度創傷ケア各論 I

- 1) 解剖、生理 (Viable tissue、Non-viable tissue)
- 2) 褥瘡部の早期アセスメント
- 3) 疼痛のアセスメントと管理

2. 高度創傷ケア各論 II

- 1) 超音波診断装置 (エコー)、サーモグラフィの特徴
- 2) エコー、サーモグラフィを用いた創管理
- 3) デブリードメントの種類と方法
- 4) Sharp デブリードメントの種類と方法
- 5) 陰圧閉鎖療法の適応
- 6) ドレッシング材の特徴
- 7) ドレッシング材を用いた創管理と保険償還について
- 8) 補助療法としての振動器の特徴
- 9) 振動器を用いた創管理

II. 演習

1. アセスメント技術

- 1) エコー操作方法と創部への応用
- 2) サーモグラフィ操作方法と創部への応用
- 3) 非観血的デブリードメント技術
- 4) 陰圧閉鎖療法の技術
- 5) ドレッシング材選択手技
- 6) 振動器使用方法

III. 実習

1. 高度創傷ケアの実践

調査項目

対象者の基本属性：

- ・WOC 認定看護師－看護師および WOC 認定看護師経験年数、所属病院特性(看護師配置、病院区分、病床数、褥瘡ハイリスク患者ケア加算取得の有無)
- ・褥瘡患者一年齢、性別、基礎疾患、栄養状態、ブレードンスコア、体圧分散寝具の種類

Primary Outcome：

- ・創傷治癒アウトカム－DESIGN スコア減少率、重症褥瘡進行率、デブリードメントの回数を含めた壊死組織付着面積の減少率

Secondary Outcome：

- ・褥瘡管理にかかる費用－人件費、物材費
- ・有害事象の有無
- ・患者 QOL－疼痛の有無、満足度

評価期間

褥瘡治癒までまたは介入3週間後まで

分析

プライマリーアウトカム(DSIGN スコア減少率)に関して、患者特性、病院特性、および DESIGN のベースラインデータで調整した共分散分析を行い、各時点での導入効果を群間比較する。重症褥瘡進行率は、ロジスティック回帰モデルを適応し、高度創傷管理実施導入の固定効果を判定する。また、DESIGN を 1 点減少させるのに必要な費用を算出し、費用対効果分析を行う。

●年●月●日

●●病院

施設長 ●●殿

東京大学大学院医学系研究科
健康科学・看護学専攻
創傷看護学分野
真田 弘美

「皮膚・排泄ケア認定看護師による高度創傷管理技術を用いた
重症褥瘡発生の防止に関する研究」
調査ご協力について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

現在、「皮膚・排泄ケア認定看護師による高度創傷管理技術を用いた重症褥瘡発生の防止に関する研究」厚生労働省科学研究費補助金（H20-医療-一般-022）を行なっております。

近年注目されている症状として Deep Tissue Injury(深部組織損傷、DTI)があり、DTI を重症化させないためには、超音波診断装置など(エコー)を用いて深部組織状態をアセスメントした上で早期に壊死組織のデブリードメントを十分に行い、湿潤環境を保つドレッシング療法を提供する高度な創傷管理技術が必要であります。しかし、一般的には肉眼的観察による主観的な判断で壊死組織の除去が施工されており、処置の遅れにより重症化へ移行しているのが現状であります。褥瘡の管理に主体的に関わっているのは、専門的な教育を受けた皮膚・排泄ケア認定看護師(WOC 看護師)です。既に習得している専門的創傷管理技術に加えて、高度な創傷管理技術を習得すれば、アセスメントから管理までを一連のケアプロトコールとして提供することが可能となります。

本研究は、高度な創傷管理技術を WOC 看護師に教育し、体系的ケアプロトコールを策定・実施することで、重症褥瘡の発生率を低下、治癒率を向上させるとともに、患者 QOL を向上し、医療コストを減少させることを目的としております。

本調査の概要は別紙の通り行う予定でおります。調査の趣旨をご理解いただき、貴所属の●●殿に研究への協力をいただきたく、御承諾くださいますようお願い申し上げます。

敬具